

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。

☆最初のISS構成要素打上げから3119日経過しました
 ☆第15次長期滞在クルーのISS滞在は56日経過しました
 ☆ISS動向

第15次長期滞在クルーのフョードル・ユールチキン、オレグ・コトフ両宇宙飛行士は5月31日に、ISS組立てのための船外活動としては通算82回目、ふたりにとっては初めてとなる船外活動を行いました。

5時間25分におよぶ船外活動では、「ズヴェズダ」(ロシアのサービスモジュール)に新しい軌道上デブリ防護パネル5枚の取付けと、「ズヴェズダ」後方にある、欧州補給機(ATV)のランデブ運用時に使用する航法用GPSアンテナの配線の再接続作業を行いました。スニータ・ウィリアムズ宇宙飛行士はISS内から船外活動中のクルーを支援しました。

船外活動の詳細内容はNASAステータスレポートをご覧ください。

http://iss.jaxa.jp/iss/report/07_29.html (JAXA: 仮訳)

2回目の船外活動は6月6日午後11時30分から開始し、さらに12枚の軌道上デブリ防護パネルの取付けと、実験装置の交換作業等を行います。

この様子はNASA TVでご覧になれます。

●NASA TV <http://iss.jaxa.jp/gallery/video/nasatv/index.html>



船外活動を行うユールチキン(右)、コトフ(左)
両宇宙飛行士(提供: NASA)



船外活動用工具を準備するコトフ宇宙飛行士(提供: NASA)

“スペースシャトル・アトランティス号(STS-117)の準備状況”

NASAは、STS-117ミッションの最終準備状況を確認し、正式な打上げ日を決める飛行準備審査会(Flight Readiness Review: FRR)を米国時間5月30日、31日の2日間、NASAケネディ宇宙センター(KSC)にて開催しました。審査会の結果、STS-117ミッションの準備状況は整っていると判断され、正式な打上げ日時を米国東部夏時間6月8日午後7時38分(日本時間6月9日午前8時38分)とすることを発表しました。

STS-117クルーは打上げのため同6月4日午後6時30分頃KSCへ到着しました。同6月5日午後9時から打上げのためのカウントダウンが開始されます。

STS-117ミッションの最新情報や詳細は以下のホームページをご覧ください。

●STS-117ミッション

<http://iss.jaxa.jp/iss/13a/> (JAXA: 日本語)

http://www.nasa.gov/mission_pages/shuttle/shuttlemissions/sts117/ (NASA: 英語)



打上げのためケネディ宇宙センターに到着したSTS-117クルー(提供: NASA)

“インフォメーション”

☆「第5回航空機による学生無重力実験コンテスト」参加者募集: 7月6日(金)まで

JAXAは、宇宙環境利用への理解・関心を深める目的で、大学生等の皆さんから航空機の無重力環境で実施してみたいアイデアを募集します。選定されたチームは、自ら製作した実験装置を航空機内に持ち込み、無重力状態を体験しながら実験等を行います。

理工系に限らず、芸術や教育など幅広い分野が対象です。提案内容に制限を設けない「自由テーマ」以外に、小中高校での学習に役立つような映像等を取得し教材化する「課題テーマ」の応募区分を設けています。また、日本への留学生の参加も歓迎します。

●第5回の募集要綱など詳細は下記URLを参照ください。

<http://iss.jaxa.jp/education/parabolic/05/application5th.html>

●第1回から第4回までの実施テーマや体験談はこちらをご覧ください。

<http://iss.jaxa.jp/education/parabolic/index.html>

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> Eメール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。